

施政方針と当初予算

今年度の市の方針をお知らせします

施政方針演説 ※抜粋

平成14年1月の市長就任以来、はや3年余りの月日が経ちました。この間、本市が直面する数々の重要課題の解決に向け、懸命に取り組んでまいりました。

中でも、大きな課題でありました市町村合併につきましても、市民の意向を十分尊重し、知覧町との合併実現に向け最大限の努力を傾注してまいりましたが、ご承知のとおり、昨年末をもって枕崎市・知覧町合併

協議会を廃止するという結果になりました。多数の市民の皆さんが合併実現を望んでいたことを思えば、誠に遺憾なことでありました。合併問題につきましては、今後とも引き続き検討・模索してまいります。新たな枠組みによる早急な合併の実現は、現実的に困難な状況にあり、当面、本市は単独でいかにざるを得ないと認識しております。

ところで、私は従来から、合併の如何にかかわらず行政改革は急がなければなら

ない重大な課題であると申し上げてまいりました。今まさに本市の財政は再び財政再建団体に転落する危機的状況に瀕しております。かかる危機的状況の中で市政を円滑に運営していくためには、全職員一丸となり、行政改革の徹底とスビードアップを図っていくことが何よりも求められております。

特に新年度は、財政建て直しの大きな柱として「職員給与等の適正化」と「施設等の民営化・民間委託」

の二つを据え、それらの一日も早い実現に向けた道筋を立てたいと考えております。

なお、これらの実現には、市職員はもとより、市議会、市民すべてが今まで以上に危機感を共有し、一致団結して事に当たることが不可欠であります。皆様方のご協力をお願いします。

さて、新年度は、法人市民税を中心とした市税の若干の増収が見込まれるものの、国の三位一体改革の影響等もあって総体的に非常に厳

しい状況の中、早急な財政健全化を図るべく徹底した事務事業の圧縮により、平成16年度当初予算を更に下回る緊縮型予算として編成いたしました。限られた予算の中で、多様化する市民ニーズに可能な限りこたえるべく努力してまいります。

そこで、新年度の施策の主なものについて、部門ごとに説明いたします。

【生活環境の整備】

町名等整理事業（6,479千円）：引き続き別府校区の一部を実施します。

なお、この事業については、当初の計画を一部前倒しし、平成18年度をもって完了させる予定です。

道路整備：辺地対策事業（54,000千円）を活用した板敷大隣線ほか2線的生活道路の改良工事、都市計画道路の大堀通線の二期工事を引き続き実施（158,900千円）するほか、新年度から虚空蔵通線の用地取得等着手します。（7,000千円）

▼道路維持費 133,906千円
公共下水道事業：塩屋北町等の一部の面的整備を引き続き実施し、快適な生活環境づくりを推進します。▼公共下水道事業特別会計繰出金 432,000千円

防災対策：神園川改修（90,300千円）及び水流地区の浸水対策事業（25,500千円）を引き続き実施します。

なお、平成6年度から実施しております深浦排水路改修工事については、新年度に完了する予定です。▼深浦排水路改修事業 30,800千円

花渡川及び中洲川の河川改修について、新年度は両河川の新たな合流点部分の国道橋

新設工事が着手されますが、併せて、国道225号の交差点改良事業と市道第2花渡橋

の架替事業の早期完成に向け、国・県及び関係者との調整に努めます。▼第2花渡橋架替事業負担金 15,000千円

生活公害対策：一部地域に異常発生した不快害虫であるヤンバルトサカヤスデの駆除を行います。

環境対策：地球温暖化や異常気象を防止することは、農業や水産業を基幹産業とする本市にとって重要な課題であり、そのための省エネルギー・新エネルギービジョンの構想実現に向けた広報啓発を行い、

民間を含めた省エネルギー施策の推進や新エネルギーの導入促進に努めます。

【都市機能】

JR指宿枕崎線の利用喚起に努めるとともに、国道の改良促進及び南薩縦貫道の整備促進の要望活動を更に積極的に推進します。

【産業振興】

若者の定着するまちづくり

には、産業の振興は欠かすことができません。民間は、各々の業界において創意工夫に取り組んでいますが、率直に申し上げて行政としてのそれが不足しているのではないかと

の感否もありません。その反省に立ち、もっと積極的に振興策を提供できるよう努めます。

水産業：青物魚や近海魚の水揚量の落ち込みやカツオの魚価低迷等、大変厳しい漁業経営の中、外来船誘致の推進とともに、地元遠洋カツオ一本釣漁船や沿岸漁業に対する積極的な支援に努めます。▼外来船誘致対策費 2,071千円

▼200カイリ対策費補助 8,460千円▼かつお鮮魚販路対策協会負担金 4,000千円

水産加工業：冷凍カツオの輸入や海外まき網船の入港により原料確保の面では安定する一方、製品の市場価格の低迷等、依然として厳しい状況の中「食の安心・安全の確保」の観点に立ち、今後関係業界と十分連携を図りながら、振興策に取り組みます。

▼さつまいも調整協会負担金 1,000千円

農林業の振興：本市の特性を生かした豊かな特産農業の主産地づくりを基本に、生産条件の整備、環境保全対策、災

改革 断行 予算

実質6年連続のマイナス予算

予算編成に当たっては、「新財政健全化目標」や「公債費負担適正化計画」達成への基本方針を堅持するとともに、減少する歳入総額に耐えられる歳出構造にしていくように、平成16年度に引き続き「改革断行予算」と位置付けました。

まずは行政改革を積極的に進め、健全財政を図りながら限られた財源を効率的に配分して、市民福祉の向上と市勢の発展を目指すことを基本方針としました。

平成17年度一般会計当初予算

平成17年度一般会計当初予算
101億9,200万円
前年度106億3,710万円

